

2022（令和4）年度
公募制入試
卒業生子女・弟妹入試
〔法学部〕
小論文問題

注意

- 1 開始の合図があるまでは、開かないこと。試験時間は六〇分である。
- 2 黒色鉛筆を使用すること。
- 3 解答用紙の所定欄に、氏名・受験番号を記入すること。
- 4 縦書きにすること。
- 5 下書きには、この用紙の余白を使用すること。
- 6 書き損じても、解答用紙は再交付しない。
- 7 この用紙は、試験終了後に回収しない。

解答要領

解答は問題文中の設問の指示に従って、解答欄に適切に書くこと。
なお、句読点・かっこなども字数に加える。また、段落の初めの空きや、段落の終わりの行にできた空きも、書いてあるものとみなし、字数に加える。

以下の「社説」を読んで、設問に答えなさい。

経済活動がグローバル化するなかで、個人情報の国境を超えた動きにどう対応すべきか。個人の権利や利益が十分に守られることを大前提に、様々な観点から議論を深める必要がある。

無料通信アプリのLINEが、個人情報の扱いに不備があったとして陳謝した。一部のデータについて、中国の関連会社からアクセスできたり、韓国で保管したりしていたことを、利用者に十分説明できていなかったという。有識者による検証と情報保護の強化を進める。個人情報保護委員会や総務省からも報告を求められていた。

個人情報保護法は、個人データを海外の第三者に提供する際に、原則として本人の同意を得るよう求めている。法の趣旨の説明では、具体的な国名を示す方法などが示されている。

だが、LINEはプライバシーポリシー（個人情報に関する指針）で、「（日本と）同等のデータ保護法制を持たない第三国」に移転することがあるとだけだった。国内で8600万人が利用し、グローバル展開を掲げる企業として、不備を取り除くことは当然だ。個人情報保護委員会などの調査にも誠実に応えてほしい。

来年までに施行される改正個人情報保護法には、同様の同意をとる場合には、その国の保護制度などを含め、データの取り扱い方について参考になる情報を本人に提供することが求められる①。海外ではどんなリスクがありうるかを認識できなければ、実質的な「同意」にならないという考え方だ。

LINEに限らず、個人データを海外でも取り扱う事業者は、趣旨を正面から受け止めて対処する必要がある②。

そもそも企業の提供するサービスでは、膨大な規約が形式的で分かりにくい文章で示されることが多い。GAF Aと称されるようなIT大手の個人データの扱い方も、繰り返し不信や不安を招いてきた。利用者の納得を等閑視するような姿勢を続けば、信頼を失うだろう。

日本政府はG20などの場で「信頼性のある自由なデータ流通」を^aテイショウしてきた。経済成長につながる国際的なデータ

流通と、プライバシーやデータ保護、安全性の確保との相乗効果をめざす立場だ。

一方で、米中間では安全保障上の見地から、経済でも断絶の動きが広がっている。国家統制色を強める中国に対しては、こうした側面に注意を払うことも必要ではあるが、一般に他国との分業や協業をカジョウに排除すれば自国の利益にもならない。個人情報保護を含めた人権を基本に、質の高いルールを共有し、協力関係を広げていくべきだ。

(2021年3月25日 朝日新聞 朝刊「社説」LINEの情報 利用者に説明を尽くせ)

朝日新聞社に無断で転載することを禁ずる(承諾番号22-0521)

設問

1. この「社説」に適切なタイトルを20字以内でつけなさい。
2. 傍線部 a 及び b を漢字で書きなさい。
3. 傍線部①について、どのようなときに求められる同意かを示す部分を、その後に「とき」が続くように「○○・○
とき」というように、文中から17字で抜き出して示しなさい。
4. 傍線部②の具体的な内容を表している部分を、文中から45字で抜き出して、その最初の7字を示しなさい。
5. この「社説」の内容をふまえて、あなたの考えを501字以上600字以内で示しなさい。